

夢を追う  
みんなへエール



東京二期会『楳姫』©長澤直子



東京二期会『午後の曳航(えいこう)』©寺司正彦

# 山本 耕平

Kohei Yamamoto

オペラ歌手/テノール

## PROFILE

米子市出身。東京学芸大学教育学部クラリネット専修を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院及びミラノ・ヴェルディ音楽院を修了。国内外で多くのオペラに主演。令和4年度鳥取県文化奨励賞受賞(第1回)。洗足学園音楽大学等で後進の指導にも当たっている。二期会会員。

## Q4 故郷・鳥取県への思いは。

都市圏から遠く、人口が少ないなど何かに取り組むには不利な面があると思いましたが、地元から多くの出演機会をいただき、おかげで同世代よりも多くの場数を踏ませてもらいました。人口の多い東京都出身のアーティストでは、こうはいかなかったかもしれません。故郷の支援がキャリアの基盤になっています。鳥取県には、「このジャンルは自分」とアピールしたい人を見つけ出し、応援してくださる温かさがあるように思います。

## Q5 夢や目標が見つからない高校生にメッセージを。

「この時間って何」と思える経験も、後々、人生の糧になることを実感しています。僕の場合、大好きなマンガやゲームが縁で、仕事につながることもあります。好きなことや趣味は肯定して大切にしてください。声楽家でも、音楽とは無縁のスポーツ出身者が活躍している例もあります。視野を広く持ってたくさんの経験をしてください。

※インタビューは2025年12月に収録したものです

### 山本耕平さん出演舞台情報

#### 東京二期会『ルル』

2026年4月11日、17~19日

新国立劇場

オペラパレスほか

主催：公益財団法人東京二期会

詳細はコチラ▶



東京二期会『ルル』©西村廣起

## Q1

高校時代はどのように過ごしていましたか。声楽との出会いは。

吹奏楽部でクラリネットに熱中し、当時の夢は音楽の先生でした。教育大への進学を目指して勉強しながら、友人ともたくさん遊びました。教育大で楽器専攻として学ぶ中、声楽の先生と出会い、歌唱力が一気に伸びました。「それなら」と現役大学に通いながら、東京藝大声楽科を受験。入学後は、首席で卒業、2つのコンクールで優勝、さらに留学も決まり、声楽家としての夢が定まりました。

うまくいかなかったときの乗り越え方は。

## Q2

イタリアに渡った当初、全く通用せず、自分でも何かが決定的に足りないような違和感がありました。舞台に出演しないことを決め、約2年半立ち止まって、師匠と基礎から練習をやり直しました。「止まるときは止まる、動くときは動く」。自分の感覚を受け止め、時には勇気を持って立ち止まってみたことが今につながっているように思います。

## Q3 最近の“挑戦”は。

毎年、異なる言語や文化のオペラに挑戦しています。その都度、膨大な勉強が必要で気分は毎年“受験生”のようです。2026年2月には島根県民会館で、これまでで最も高音域のパートに挑みます。挑戦する分野に詳しい人がいれば、年齢や立場に関係なく教えを請います。「いいね」の数や声援はもちろん大きなモチベーションですが、自分が納得できる瞬間や喜びも大切にするようにしています。